

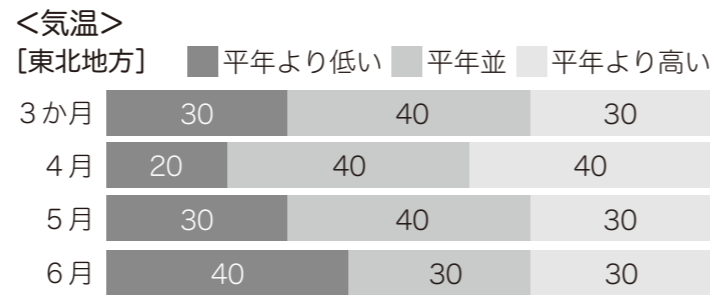
育苗と農作物の管理は万全に!!

仙台管区気象台発表の東北地方3ヶ月予報は下記の通りとなっております。

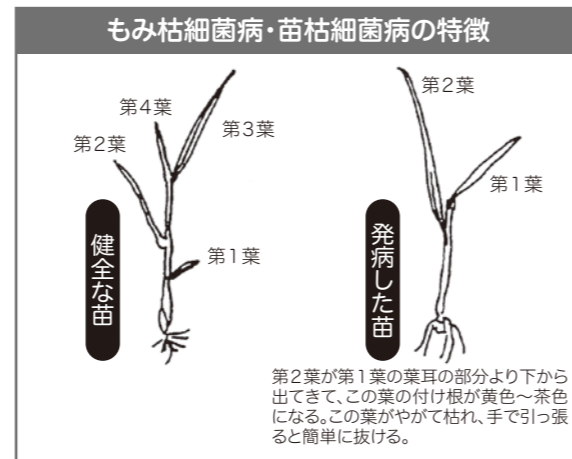
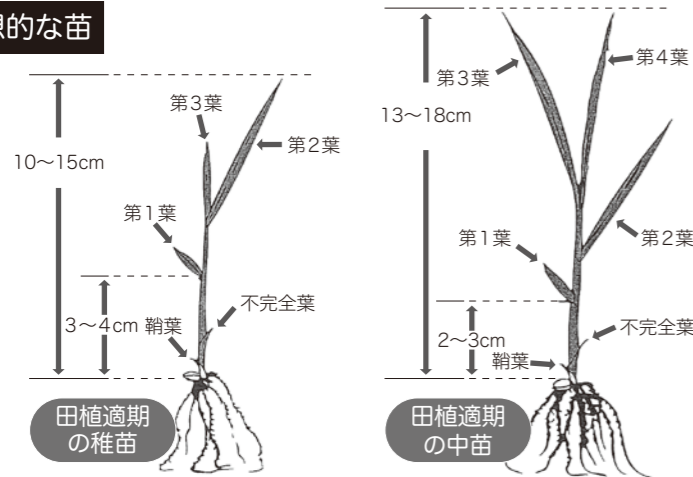
4月…東北日本海側では、天気は数日の周期で変わってでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

5月…天気は数日の周期で変わってでしょう。

6月…前半は、天気は数日の周期で変わってでしょう。後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。



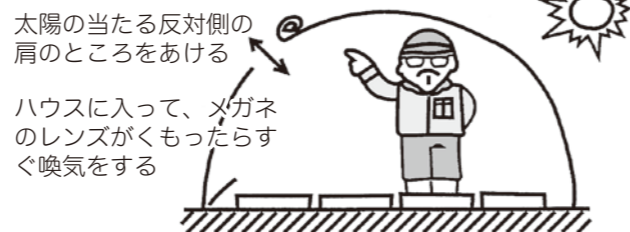
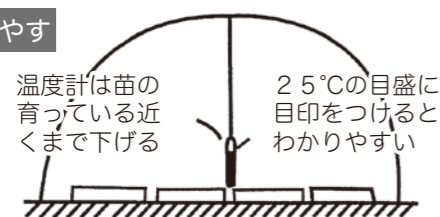
理想的な苗



◎ハウス内の温度、水管理は適正に行いましょう。

ハウス内の温度は? 緑化期: 日中25℃を目安に ●夜間15℃前後 (10℃以下にならないように保温。)
注意: 低温等の肌寒いときはハウスを夕方早めに閉めましょう。
硬化期: 日中20℃を目安に ●夜間10℃~20℃

温度管理のめやす



水管理

1日に何回も灌水しますと、苗は常に多くの水を要求するようになり、軟弱徒長や根張りが悪く、病害にかかりやすくなります。育苗の前半は2~3日に1回、中盤以降は1日1回の灌水とし、夕方には育苗箱の表土が軽く乾くように管理しましょう。

※新しいビニールに張替した場合は温度が上がりやすく、ヤケる心配がありますので気をつけましょう。

◎カビの防除について

カビの発生条件は、「高温・多湿・床土の不良」等があげられ予防防除が効果的です。育苗箱の裏表や床の中を見てカビが見られた場合は、早急に一度ハウス内を乾かして、灌水の代わりに薬剤を散布しましょう。天気の良い日に散布すると効果的です。

<使用できる薬剤> ※希釈倍数は「500倍液」とし散布薬量は1箱当たり「500cc」を灌水となります。

(1)ダコレート水和剤 (播種時から緑化期頃 但し播種14日後まで)

※使用回数は2回以内→播種時に1回+必要あれば緑化期に1回

(2)タチガレエースM液剤 (播種時又は出芽後) 根の生育促進効果あり

※使用回数は1回→播種時ダコレート水和剤を使用したら、出芽後に1回

(3)タチガレン液剤は、2回目以降の体系処理でも良い。



「環境保全米」については、タチガレン液剤のみ使用できます。(1回のみ)

【ダコレート水和剤・タチガレエースM液剤・タチガレン液剤】500倍液のつくり方

防除箱数	薬剤量(g又はcc)	水量(ℓ)	防除箱数	薬剤量(g又はcc)	水量(ℓ)
50枚	50	25	200枚	200	100
100枚	100	50	300枚	300	150
150枚	150	75	500枚	500	250

※使用前に使用回数・希釈倍数を確認して下さい。

◎育苗期間中の追肥について

苗の葉色が淡くなったり、生育ムラが生じた場合には追肥をしましょう。また、田植前3日前後の追肥は活着の促進になります。

『ポリコープ1号』又は『硫安』で実施しましょう!!

追肥箱数	硫安(g)又はポリコープ(c.c.)	水量(ℓ)	追肥箱数	硫安(g)又はポリコープ(c.c.)	水量(ℓ)
50枚	250	25	200枚	1,000	100
100枚	500	50	300枚	1,500	150

注意: 硫安で追肥をする場合、葉やけを防ぐために散布後すぐに水をかけて下さい。

◎JA米栽培履歴記録簿の記帳は確実に実施しましょう!

また、生産者の皆様へ「農家控え用」を配布しておりますので、品種・作型別に必ず記帳して下さい。

《苗の異変に気づいたら早急にご連絡を!!》

苗に異常が見られた場合や順調に生育しているか確認して頂きたい方を優先的に巡回いたしますので、その際はお早めにご連絡願います。

連絡先 JA営農センター (営農企画課) TEL 022-384-2392



◎ 田植え前に資材を確認し、栽培履歴は必ず記帳しましょう!!

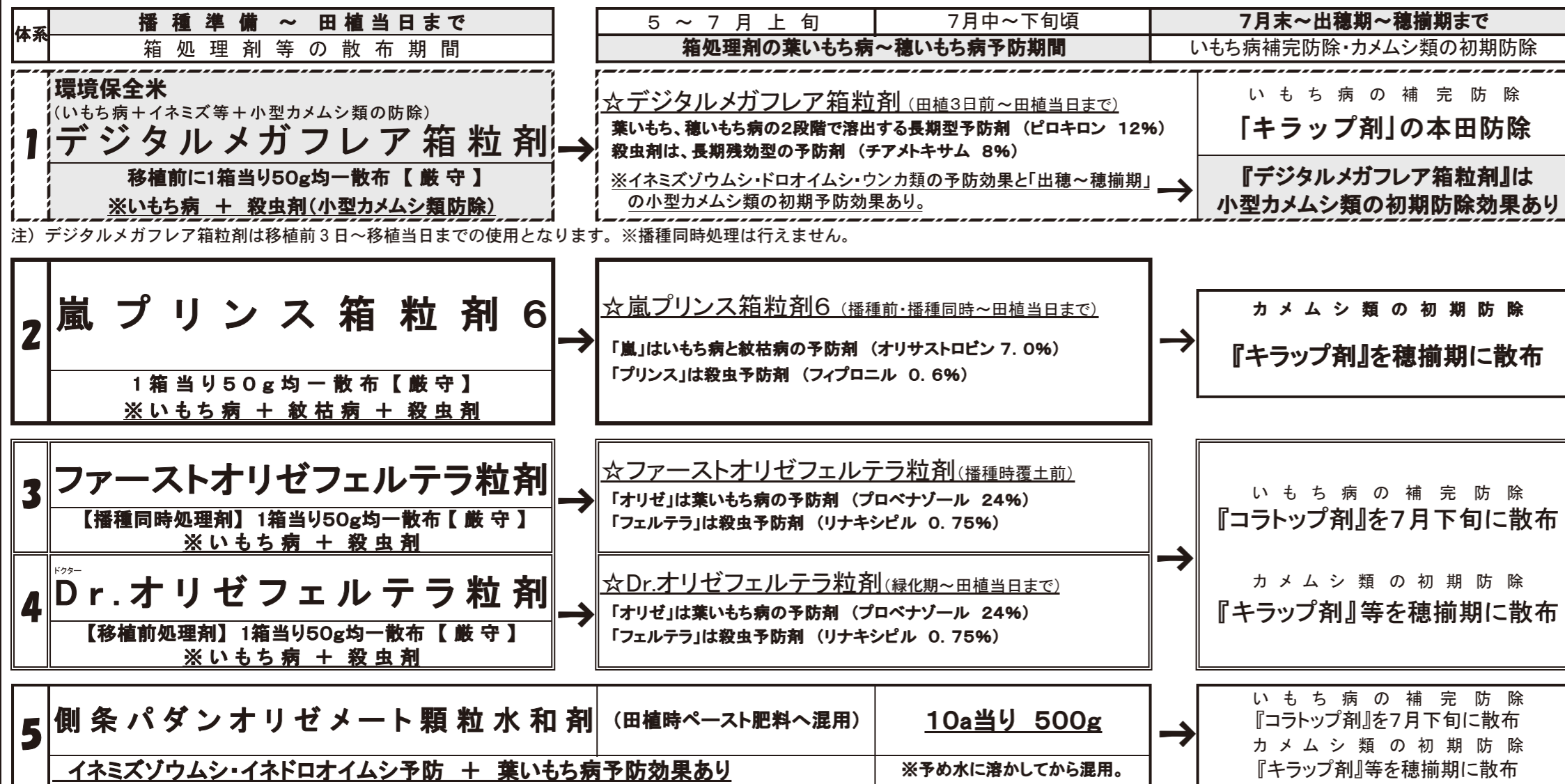
田植えが始まる前に、作付面積と使用する資材が不足しないか事前に確認しましょう。

- 基 肥 … 10a当り約2袋使用しますので、不足しないか作付面積と数量の確認。
- いもち病箱処理剤 … 1箱当り50g<1kg袋20箱分>となります。使用枚数との確認。
- 除 草 剤 … 作付面積に対し、数量の確認。

不足する場合は
JAへご注文下さい。

※例年、薬剤等の誤使用が見受けられます。ラベルにて確認してから使用して下さい。

平成 26 年度箱処理剤【いもち病】と【殺虫剤】の防除体系



- 『環境保全米栽培』に取り組む生産者は、『デジタルメガフレア箱粒剤』を散布。【栽培ごよみ参考】
- デジタルメガフレア箱粒剤は、出穂期～穂揃期のカメムシ類の初期防除まで効果が期待できます。(平年気温で残効期間110～120日)
- 圃場条件(稲の葉色が濃い)や天候不順等により穂いもち病が懸念される場合は、必ずいもち病の補完防除を行って下さい。
※平成26年度も継続して、名取市・岩沼市病害虫防除協議会から「いもち病箱処理剤等購入費」を予約価格の10～15%以内が助成されます。

※いもち病の発生を未然に防ぐように『箱処理剤』等は必ず実施しましょう!!

農繁期の 休日対応について

本年も農繁期対応として、下記の日程により営業しておりますので、ご利用下さい。

【営業時間 午前8時30分～午後5時15分】

休日の営業日		
4月	26日	(土)
4月	27日	(日)
4月	29日	(火・祝)
5月	3日	(土・祝)
5月	4日	(日)
5月	5日	(月・祝)
5月	6日	(火・振)
5月	10日	(土)
5月	11日	(日)
5月	17日	(土)
5月	18日	(日)

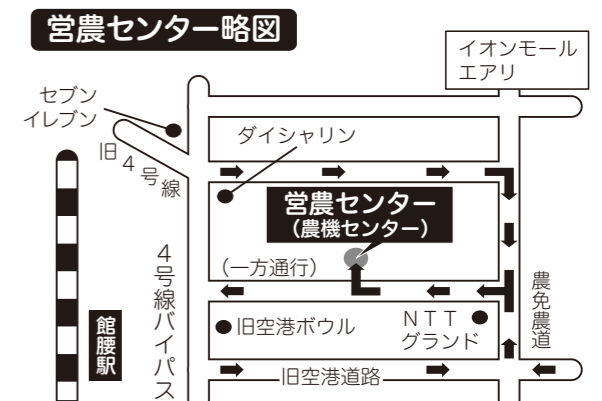
★★★ 営農センター ★★★

購買課

TEL 022-384-2151

農業機械課

TEL 022-384-2353



※資材等の配送は行いませんので
ご了承下さい。